

各 位

平成 26 年 10 月 31 日

会社名 マルマン株式会社

代表者名 代表取締役社長 出山 泰弘

(コード番号：7834)

問合せ先 専務取締役経営管理本部長 盧 康九

(TEL：03-3526-9970)

**(訂正・数値データ訂正) 平成 26 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結) の訂正に関するお知らせ**

平成 26 年 3 月 14 日に開示いたしました「平成 26 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 26 年 10 月 27 日付「過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶことから訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_線を付して表示しております。

【訂正後】



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年3月14日  
上場取引所 東

上場会社名 マルマン（株）  
 コード番号 7834 URL <http://www.maruman.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）出山 泰弘  
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役経営管理本部長 （氏名）盧 康九 TEL 03-3526-9970  
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,461	△16.8	△182	—	△197	—	△682	—
25年9月期第1四半期	1,757	8.5	△22	—	30	27.0	17	—

（注）包括利益 26年9月期第1四半期 △682百万円（-％） 25年9月期第1四半期 57百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	<u>△55.84</u>	—
25年9月期第1四半期	<u>1.67</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第1四半期	5,441	720	13.2	58.89
25年9月期	<u>5,702</u>	<u>1,402</u>	<u>24.6</u>	<u>114.69</u>

（参考）自己資本 26年9月期第1四半期 720百万円 25年9月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,900	△2.7	△370	—	△400	—	△500	—	△40.89
通期	6,900	9.6	△125	—	△200	—	△300	—	△24.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規1社（社名）丸万（北京）商貿有限公司、除外1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期1Q	12,229,200株	25年9月期	12,229,200株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	380株	25年9月期	380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期1Q	12,228,820株	25年9月期1Q	10,624,620株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、高水準の消費が続く中、生産・雇用の回復に併せて住宅投資・公共投資が増加し、回復傾向が顕著となりました。しかしながら、消費税率の上昇に伴う消費への影響が見込まれるなど不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、国内におけるゴルフ用品市場は、依然低迷し、厳しい市場環境に直面いたしております。また健康食品業界においては、市場の安定的な成長が見込まれるものの、店頭売上比率の減少等により、新たな販売ルートの確立が求められております。

このような状況の下、当社では、新ブランド「ゼータ」の投入を行うとともに、効果的な宣伝活動などに努めることで既存商品の店頭売上に力を入れると共に、海外での受注活動に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,461百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。しかし、販売促進及び広告関連にかかる費用が増加したことなどにより、営業損失が182百万円（前年同四半期は営業損失22百万円）となりました。なお経常損益は持分法による投資利益等を計上したものの、支払利息の計上、為替差損の発生などにより経常損失が197百万円（前年同四半期は経常利益30百万円）となりました。また、海外代理店等に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の回収可能性の検討を行い、法人税等調整額を計上したことに伴い、四半期純損失は682百万円（前年同四半期は四半期純利益17百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少し、5,441百万円となりました。これは主に現金及び預金が156百万円、棚卸資産が224百万円増加したものの、固定資産に係る貸倒引当金が422百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が198百万円減少したことなどによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ421百万円増加し、4,721百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が363百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ682百万円減少し、720百万円となりました。これは主に四半期純損失を690百万円計上したことなどによるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成25年11月12日に公表しました第2四半期（累計）及び通期業績予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日（平成26年3月14日）発表の「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、丸万（北京）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失及び経常損失を計上し、当期純損失については2期連続となりました。また、当第1四半期連結累計期間において業績の回復に努めたものの、営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上しております。このような状況により、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しておりますが、以下の経営戦略及び改善策を実行することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

#### ①販売の回復と拡大

- ・利益率の高い商品開発（基礎研究の充実、ライフサイクル損益管理、開発リードタイムの短縮）
- ・新規取扱商品の拡大と充実した営業力及び販売ルートを背景とした積極的な市場導入
- ・市場動向に合わせた開発・製造体制の確立
- ・北米市場への再進出及び海外未取引地域の開拓
- ・健康食品等のネット販売の拡大
- ・ブランディング活動の促進等マーケティングの強化

#### ②コスト削減

- ・内製化率の向上と製造原価及び物流経費の削減
- ・開発及び生産リードタイムの短縮と在庫削減
- ・人件費その他固定費の削減

#### ③資金調達

- ・第三者割当等の資本の増強の検討
- ・関係会社株式等、一部資産の売却の検討
- ・取引先金融機関との良好な関係の維持

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,882	706,663
受取手形及び売掛金	1,345,587	1,147,316
商品及び製品	989,629	1,134,828
仕掛品	36,582	45,701
原材料及び貯蔵品	693,255	763,567
繰延税金資産	30,984	—
その他	353,481	126,852
貸倒引当金	△90,609	△88,216
流動資産合計	<u>3,908,794</u>	<u>3,836,712</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,628	233,771
土地	764,786	764,786
その他（純額）	61,549	62,284
有形固定資産合計	<u>1,065,964</u>	<u>1,060,842</u>
無形固定資産	11,373	16,359
投資その他の資産		
投資有価証券	117,893	142,416
固定化営業債権	578,694	578,694
長期未収入金	349,400	347,955
その他	125,168	329,447
貸倒引当金	△466,171	△888,420
投資その他の資産合計	<u>704,984</u>	<u>510,093</u>
固定資産合計	<u>1,782,322</u>	<u>1,587,295</u>
繰延資産		
開業費	11,295	17,489
繰延資産合計	<u>11,295</u>	<u>17,489</u>
資産合計	<u>5,702,413</u>	<u>5,441,497</u>

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,995	1,272,745
短期借入金	917,782	956,122
未払金	263,183	312,472
リース債務	6,094	5,086
未払法人税等	17,902	23,637
製品保証引当金	9,482	13,314
返品調整引当金	47,382	52,950
その他	66,606	75,239
流動負債合計	2,237,431	2,711,569
固定負債		
長期借入金	1,951,980	1,903,210
製品保証引当金	12,264	12,803
訴訟損失引当金	52,909	50,628
リース債務	3,986	3,386
資産除去債務	8,770	8,775
その他	32,574	30,955
固定負債合計	2,062,485	2,009,759
負債合計	4,299,916	4,721,328
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,196,492	1,196,492
資本剰余金	762,130	762,130
利益剰余金	<u>△479,699</u>	<u>△1,162,597</u>
自己株式	△160	△160
株主資本合計	<u>1,478,763</u>	<u>795,865</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	△0
繰延ヘッジ損益	1,720	15,918
為替換算調整勘定	<u>△77,999</u>	<u>△91,614</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△76,267</u>	<u>△75,696</u>
純資産合計	<u>1,402,496</u>	<u>720,169</u>
負債純資産合計	<u>5,702,413</u>	<u>5,441,497</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,757,117	1,461,748
売上原価	1,033,425	861,411
売上総利益	723,692	600,337
販売費及び一般管理費	746,023	782,787
営業損失(△)	△22,331	△182,449
営業外収益		
受取利息	2,141	2,299
為替差益	64,423	—
負ののれん償却額	8,989	8,989
持分法による投資利益	7,622	35,361
賠償金収入	—	7,913
その他	4,181	1,835
営業外収益合計	87,358	56,397
営業外費用		
支払利息	30,706	30,222
為替差損	—	38,450
その他	3,905	2,722
営業外費用合計	34,611	71,395
経常利益又は経常損失(△)	30,415	△197,446
特別利益		
受取補償金	25,000	—
その他	862	—
特別利益合計	25,862	—
特別損失		
固定資産除却損	4,024	—
貸倒引当金繰入額	—	451,916
長期前払費用償却	2,474	—
特別損失合計	6,499	451,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	49,778	△649,362
法人税、住民税及び事業税	2,544	2,550
法人税等調整額	29,540	30,984
法人税等合計	32,084	33,535
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	17,693	△682,898
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,693	△682,898

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年10月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益	17,693	<u>△682,898</u>
調整前四半期純損失 (△)		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△12
繰延ヘッジ損益	35,134	14,198
為替換算調整勘定	△304	1,225
持分法適用会社に対する持分相当額	4,694	△14,839
その他の包括利益合計	<u>39,518</u>	<u>571</u>
四半期包括利益	<u>57,212</u>	<u>△682,326</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>57,212</u>	<u>△682,326</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年3月11日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社マルマンコアの株式の一部を譲渡することを決議いたしました。

1. 譲渡の目的

当社グループの経営資源のより効率的な活用を目的としております。

2. 譲渡する持分法適用関連会社の概要

- (1) 名称 株式会社マルマンコア
- (2) 主な事業内容 ゴルフ関連用品の卸売業

3. 譲渡先の概要

- (1) 名称 株式会社コスモ化学
- (2) 主な事業内容 化学材料、素材生産

4. 譲渡株式数、譲渡価格及び譲渡前後の所有株式の状況

- (1) 譲渡前の所有株式数 2,452,748株 (所有割合：40.0%、発行済株式数：6,131,870株)
- (2) 譲渡株式数 1,839,561株 (譲渡価格：4,322百万韓国ウォン)
- (3) 譲渡後の所有株式数 613,187株 (所有割合：10.0%)

5. 株式譲渡契約締結

平成26年3月11日

以上

【訂正前】



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年3月14日  
上場取引所 東

上場会社名 マルマン（株）  
 コード番号 7834 URL <http://www.maruman.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）出山 泰弘  
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役経営管理本部長 （氏名）盧 康九 TEL 03-3526-9970  
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,461	△16.8	△182	—	△197	—	△690	—
25年9月期第1四半期	1,757	8.5	△22	—	30	27.0	11	—

（注）包括利益 26年9月期第1四半期 △690百万円（-％） 25年9月期第1四半期 51百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	<u>△56.48</u>	—
25年9月期第1四半期	<u>1.10</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第1四半期	5,441	720	13.2	58.89
25年9月期	<u>5,710</u>	<u>1,410</u>	<u>24.7</u>	<u>115.32</u>

（参考）自己資本 26年9月期第1四半期 720百万円 25年9月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,900	△2.7	△370	—	△400	—	△500	—	△40.89
通期	6,900	9.6	△125	—	△200	—	△300	—	△24.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規1社 （社名）丸万（北京）商貿有限公司、除外1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期1Q	12,229,200株	25年9月期	12,229,200株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	380株	25年9月期	380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期1Q	12,228,820株	25年9月期1Q	10,624,620株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、高水準の消費が続く中、生産・雇用の回復に併せて住宅投資・公共投資が増加し、回復傾向が顕著となりました。しかしながら、消費税率の上昇に伴う消費への影響が見込まれるなど不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、国内におけるゴルフ用品市場は、依然低迷し、厳しい市場環境に直面いたしております。また健康食品業界においては、市場の安定的な成長が見込まれるものの、店頭売上比率の減少等により、新たな販売ルートの確立が求められております。

このような状況の下、当社では、新ブランド「ゼータ」の投入を行うとともに、効果的な宣伝活動などに努めることで既存商品の店頭売上に力を入れると共に、海外での受注活動に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,461百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。しかし、販売促進及び広告関連にかかる費用が増加したことなどにより、営業損失が182百万円（前年同四半期は営業損失22百万円）となりました。なお経常損益は持分法による投資利益等を計上したものの、支払利息の計上、為替差損の発生などにより経常損失が197百万円（前年同四半期は経常利益30百万円）となりました。また、海外代理店等に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の回収可能性の検討を行い、法人税等調整額を計上したことに伴い、四半期純損失は690百万円（前年同四半期は四半期純利益11百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、5,441百万円となりました。これは主に現金及び預金が156百万円、棚卸資産が224百万円増加したものの、固定資産に係る貸倒引当金が422百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が198百万円減少したことなどによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ421百万円増加し、4,721百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が363百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ690百万円減少し、720百万円となりました。これは主に四半期純損失を690百万円計上したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成25年11月12日に公表しました第2四半期（累計）及び通期業績予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日（平成26年3月14日）発表の「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、丸万（北京）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失及び経常損失を計上し、当期純損失については2期連続となりました。また、当第1四半期連結累計期間において業績の回復に努めたものの、営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上しております。このような状況により、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しておりますが、以下の経営戦略及び改善策を実行することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

#### ①販売の回復と拡大

- ・利益率の高い商品開発（基礎研究の充実、ライフサイクル損益管理、開発リードタイムの短縮）
- ・新規取扱商品の拡大と充実した営業力及び販売ルートを背景とした積極的な市場導入
- ・市場動向に合わせた開発・製造体制の確立
- ・北米市場への再進出及び海外未取引地域の開拓
- ・健康食品等のネット販売の拡大
- ・ブランディング活動の促進等マーケティングの強化

#### ②コスト削減

- ・内製化率の向上と製造原価及び物流経費の削減
- ・開発及び生産リードタイムの短縮と在庫削減
- ・人件費その他固定費の削減

#### ③資金調達

- ・第三者割当等の資本の増強の検討
- ・関係会社株式等、一部資産の売却の検討
- ・取引先金融機関との良好な関係の維持



## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,882	706,663
受取手形及び売掛金	1,345,587	1,147,316
商品及び製品	989,629	1,134,828
仕掛品	36,582	45,701
原材料及び貯蔵品	693,255	763,567
繰延税金資産	38,731	—
その他	353,481	126,852
貸倒引当金	△90,609	△88,216
流動資産合計	<u>3,916,540</u>	<u>3,836,712</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,628	233,771
土地	764,786	764,786
その他（純額）	61,549	62,284
有形固定資産合計	<u>1,065,964</u>	<u>1,060,842</u>
無形固定資産	11,373	16,359
投資その他の資産		
投資有価証券	117,893	142,416
固定化営業債権	578,694	578,694
長期未収入金	349,400	347,955
その他	125,168	329,447
貸倒引当金	△466,171	△888,420
投資その他の資産合計	<u>704,984</u>	<u>510,093</u>
固定資産合計	<u>1,782,322</u>	<u>1,587,295</u>
繰延資産		
開業費	11,295	17,489
繰延資産合計	<u>11,295</u>	<u>17,489</u>
資産合計	<u>5,710,159</u>	<u>5,441,497</u>

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,995	1,272,745
短期借入金	917,782	956,122
未払金	263,183	312,472
リース債務	6,094	5,086
未払法人税等	17,902	23,637
製品保証引当金	9,482	13,314
返品調整引当金	47,382	52,950
その他	66,606	75,239
流動負債合計	2,237,431	2,711,569
固定負債		
長期借入金	1,951,980	1,903,210
製品保証引当金	12,264	12,803
訴訟損失引当金	52,909	50,628
リース債務	3,986	3,386
資産除去債務	8,770	8,775
その他	32,574	30,955
固定負債合計	2,062,485	2,009,759
負債合計	4,299,916	4,721,328
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,196,492	1,196,492
資本剰余金	762,130	762,130
利益剰余金	△471,952	△1,162,597
自己株式	△160	△160
株主資本合計	1,486,509	795,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	△0
繰延ヘッジ損益	1,720	15,918
為替換算調整勘定	△77,999	△91,614
その他の包括利益累計額合計	△76,267	△75,696
純資産合計	1,410,242	720,169
負債純資産合計	5,710,159	5,441,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,757,117	1,461,748
売上原価	1,033,425	861,411
売上総利益	723,692	600,337
販売費及び一般管理費	746,023	782,787
営業損失(△)	△22,331	△182,449
営業外収益		
受取利息	2,141	2,299
為替差益	64,423	—
負ののれん償却額	8,989	8,989
持分法による投資利益	7,622	35,361
賠償金収入	—	7,913
その他	4,181	1,835
営業外収益合計	87,358	56,397
営業外費用		
支払利息	30,706	30,222
為替差損	—	38,450
その他	3,905	2,722
営業外費用合計	34,611	71,395
経常利益又は経常損失(△)	30,415	△197,446
特別利益		
受取補償金	25,000	—
その他	862	—
特別利益合計	25,862	—
特別損失		
固定資産除却損	4,024	—
貸倒引当金繰入額	—	451,916
長期前払費用償却	2,474	—
特別損失合計	6,499	451,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	49,778	△649,362
法人税、住民税及び事業税	2,544	2,550
法人税等調整額	<u>35,553</u>	<u>38,731</u>
法人税等合計	<u>38,097</u>	<u>41,281</u>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>11,681</u>	<u>△690,644</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>11,681</u>	<u>△690,644</u>

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益	11,681	△690,644
調整前四半期純損失（△）		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△12
繰延ヘッジ損益	35,134	14,198
為替換算調整勘定	△304	1,225
持分法適用会社に対する持分相当額	4,694	△14,839
その他の包括利益合計	39,518	571
四半期包括利益	51,199	△690,073
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,199	△690,073
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年3月11日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社マルマンコアの株式の一部を譲渡することを決議いたしました。

1. 譲渡の目的

当社グループの経営資源のより効率的な活用を目的としております。

2. 譲渡する持分法適用関連会社の概要

- (1) 名称 株式会社マルマンコア
- (2) 主な事業内容 ゴルフ関連用品の卸売業

3. 譲渡先の概要

- (1) 名称 株式会社コスモ化学
- (2) 主な事業内容 化学材料、素材生産

4. 譲渡株式数、譲渡価格及び譲渡前後の所有株式の状況

- (1) 譲渡前の所有株式数 2,452,748株 (所有割合：40.0%、発行済株式数：6,131,870株)
- (2) 譲渡株式数 1,839,561株 (譲渡価格：4,322百万韓国ウォン)
- (3) 譲渡後の所有株式数 613,187株 (所有割合：10.0%)

5. 株式譲渡契約締結

平成26年3月11日

以上